

# 保育者養成校における 入学前教育（音楽）の可能性

佐藤 雄紀

## 〈抄 録〉

日本の幼児音楽教育の中でピアノは大きな位置を占めている。現在、保育者養成校に入学してくるピアノ初心者の割合は7割に及び、以前にも増して養成校に課せられた使命は大きくなっている。本学では入学予定者を対象に12月、2月、3月と3回の入学前教育（音楽）を行った。各回の時間は限られたものであったが、ピアノ課題、歌唱課題、譜読み課題を事前に与え、毎回レッスンを行った。入学前教育を通じて、保育者への学びを育むことができたり、音楽の授業にスムーズに入っていくことができたりしただけでなく、他の分野の教員とそのデータを共有することで、入学の早期から学生の詳細を把握することができ、学生指導、進路指導に生かすこともできた。現代の保育者養成校における理想的な入学前教育（音楽）のあり方を、実践とアンケート調査を基に探った。

キーワード：保育者養成、ピアノ、入学前教育、高大接続、高大連携、音楽指導、学生指導

## I はじめに

### 1 現代の保育者養成校における入学前教育（音楽）の必要性

現在、保育者養成校に入学してくる学生は非常に音楽経験が少ない。本学でピアノの経験についてアンケート調査（2017）を実施したところ、10年7%、5年5%、3年5%、初心者83%という結果であった。ピアノの経験年数3

年は、かなり初心者に近いということを考えると、9割弱はピアノ初心者ということになる<sup>1)</sup>。他の養成校でも同様の傾向が見られ<sup>2)</sup>、この傾向は今後も続いていくと思われる。それでも(多くの養成校は)2年という短期間の指導で、保育現場で通用するピアノの水準にまで学生を引き上げていかねばならず、養成校に課せられた使命は年々大きくなっている。筆者は、現在の養成校の音楽、ピアノをもっと良い方向に発展させていくためには、以下の3点の再考が必要であると考えている。

- 1) ピアノのカリキュラム、教材を再考する必要性
- 2) ピアノの授業形態を再考する必要性
- 3) ピアノの入学前教育を再考する必要性

1) は、筆者の論文(2017)「保育者養成校における入学前準備授業とバスティン・ピアノメソッドを用いたピアノのレベル別学習に関する一考察」を、2) は、筆者の論文(2018)「保育者養成校におけるアクティブ・ラーニングを用いたピアノレッスン及び幼児に対する音楽表現指導法に関する一考察」を参照されたい。そして、3) が本論文で扱うメインテーマとなる。ピアノ初心者の割合が増加の一途をたどっている保育者養成校にとって、入学前教育の重要性はもはや語るまでもないだろう。文部科学省も「高校生が大学レベルの教育研究に触れることのできる各種取組については、今後、適切な形で、高校生一人一人の能力・適性に応じつつ、拡大を図っていくことが必要である<sup>3)</sup>。」と高大連携、入学前教育の重要性を述べている。多くの養成校では秋から入試が始まり、12月には多くの生徒が入学を決めている。2年という短い養成校での学びに付け加えられる期間は、この合格を決めた後の4か月しかない。この貴重な期間に音楽、ピアノの学習に引き込み、保育者への学びを少しでも早い段階から育んでいくことは、これからの養成校にとって欠かすことができないだろう。溝口(2016)も、早く合格の決まった推薦入学生の学生にピアノ初歩の楽譜を送付し、早期に事前学習をスタートさせている<sup>4)</sup>。奥(2013)も「ピアノの経験が全くな

い」「独学で練習している」「幼児期に習ったことはあるが、その後のブランクが長く、受講を希望する」の3つの要件に該当する学生を集め、2月から3月にかけて4回の（入学前の）「ピアノ初心者向け講座」を行っている<sup>5)</sup>。バイエルを教材としながら、楽譜の読み方や演奏姿勢の指導をし、初心者の力を伸ばすことに成功している。奥(2013)は、ピアノ初心者向け講座は保育の原点そのものであり、そこで得るものはどんなピアノ歴にも優るものがあるとその重要性を述べている。

本学の3回の入学前準備授業(12月、2月、3月)は、どの進度の学生にも早い段階から保育者への学びを育んであげたいという思いから、合格を決めた全ての学生の出席を必須とした。初回の授業までに、ピアノ課題、歌唱課題、譜読み課題の決められた課題を合格し、練習習慣を身に付け、授業で使用するバスティンの教科書を定めることを目標とした。また、養成校において見落とされがちであった経験者・上級者も更なる高みを目指し、初心者を導いてあげる力を身に付けてほしいという願いから、様々な進度の学生が自身のピアノのレベルに合った楽曲を決められるよう細かなレベル別(4段階)の課題を用意した。この入学前教育の詳細は後に述べていきたい。

筆者は入学前教育の第1回から初回の授業までの4か月の成長を見守ることができる。この教育を通じて感じ得た学生個々の特質を、音楽の成長という狭い視点だけで片付けてしまうのは非常にもったいないと考え、入学前教育の各学生の課題の合格状況、学習意欲、成長の様子、性格・特徴などをデータ化し、他の分野の教員と共有することを試みた(今年度は全新入生が初回の授業を終えた4月12日にデータ共有をすることができた)。入学前教育のデータ共有の有効性について、保育実習担当の教員からコメントを頂いたので、後に紹介したい。

様々な学校や養成校で音楽教えてきて、音楽を学ぶというのはただ単に音楽的な能力を高めるというだけでなく、保育者、人間にとって大切な力を高めることができると強く感じている。人の痛みが分かるようになったり、継続して

学ぶ習慣を身に付けることができたり、人と協力して物事を進めていく力を養ったり、助け合いの精神を学んだり、人前に立つメンタリティを身に付けることができたり、問題解決能力を高めることができたり、期限までに仕上げることを学べたり、学んだことを次の事柄に応用する力を付けることができたり、音楽を通じて様々な国の文化を知ること、本当の意味での多様性を学ぶこともできたりとその学びの大きさは計り知ることができない。養成校の学生は音楽の授業を通じて、人として、保育者として大きく成長していく。だから筆者は、必ず他の学習の大きな指標にもなると考えている。そんな大きな可能性を持った入学前教育（音楽）の詳細、可能性を本論文で述べていく。

## Ⅱ 入学前教育（音楽）

本学では12月17日、2月25日、3月16日と3回の入学前教育を行った。合格者には事前に課題を送付し（図1～図10）、早くから保育者への学びを育んでもらえるよう配慮した。図1に書いてあるように、初回の授業で、ピアノテスト（レッスン）、譜読みテストを行った。歌唱テストはどの回にも行う時間がなかったので、初回の授業で行った。詳細は後程述べる。昨年度初めて入学前教育を導入した時には、バイエル No.21 または No.55、ブルグミュラーの「アラベスク」を課題に出していたが、課題の魅力に欠けている点を反省し、より保育者のピアノに即した内容に見直した。最も大きな変更点はピアノ課題を細かなレベル別（4段階）にしたことである。多くを占める初心者に無理なく、経験者・上級者は自身の可能性に挑戦できるよう配慮した。

### ・ レベル1の楽曲の出題意図（図2）

「ジングル・ベル」はよく知られている曲で、リズムも優しく、手のポジション移動もないため選曲した。この曲を通じて全音符、二分音符、四分音符をマスターし、両手で弾くことに親しんでもらうことをねらいとしている。「ロンドン橋」も「ジングル・ベル」ほどではないが、比較的よく知られている曲であり、右手の付点と左手の四分音符の弾き方を学べる

ため選曲した。他にも「ジングル・ベル」にはないスラーの表現、左手の開きなどを身に付けることができる。

- ・ レベル2の楽曲の出題意図(図3、図4)

図1にも書いてあるように、今年は3回の入学前教育を通じて、初心者であってもこのレベルの課題まで終えるのを目標にした。「ローレライ」は童謡でもよく出てくる、アウフタクト、3拍子、なめらかな左手の伴奏が学べるため選曲した。「ぶんぶんぶん」はよく知られている曲であると共に、弾き歌いを演奏するのにとても大切な呼吸、強弱、場面転換が学べるため選曲した。「聖者の行進」はよく知られている曲というだけでなく、童謡を弾くのにとても大切な軽快な和音の奏法や、タイなどの新しい表現を学ぶことができるため選曲した。

- ・ レベル3の楽曲の出題意図(図5、図6)

ブルグミュラーの「アラベスク」は、弾き歌いでとても重要になる軽快な和音の奏法、豊富な強弱記号、テンポの変化、そして何より右手にも左手にも16分音符が出てくるので、学生の実力が確かめやすい。左手の16分音符は経験者の学生にとっても非常に難しく、これをどのように克服するかが非常に重要である。「ちょうちょう」はよく知られている曲であると共に、弾き歌いを演奏するのにとても大切な呼吸、強弱(クレッシェンドも出てくる)、場面転換が学べるため選曲した。

- ・ レベル4の楽曲の出題意図(図7、図8)

ブルグミュラーの「アラベスク」はレベル3と同じため割愛。違うレベルでも入れたのは、学びの非常に多い楽曲であるため、たとえ合格して、このレベルに進んでも新たな視点と目標を持って臨んでほしいという思いからである。「おかえりのうた」は保育現場で最もよく歌われる弾き歌い曲の一つであり、付点のいいリズムを学べるため選曲した。同時に全レベルの歌唱課題としたのは、この曲を弾けるようになった学生に伴奏をしてもらい、様々進度の学生同士で良い学びにしておうと考えたからである。

12月17日はまず、ピアノの進度調査(図11)を行い、皆の前で一人ずつ順番にピアノのレッスンを行った。その間、他の学生には事前に配布した譜読みテスト事前資料(図9、図10)の中から譜読みテスト(図12)を行った。昨年度からの改善として、現時点でどの程度の音楽の基礎的な知識が身に付いているかを確認するだけでなく、初回の授業までに必ずこの事前資料の内容を理解させるという意味合いで行った。入学前教育中(実際最も合格の遅かった学生は本授業の第2回まで)、20点満点中、15点を取れるまで何度でも同じ問題を解かせた。初回の授業で譜読みテストを行うと考えていなかった生徒もいたようで、1回で合格の生徒は少なかったが、回を重ねるたびに合格者は増え、本授業の第2回目で全ての学生が合格することができた。

学生はレッスンを待っている間、ヘッドフォンを付けて電子ピアノで練習している学生もいれば、熱心に聴講している学生もいた。大学という慣れない環境で、知り合いもほとんどおらず、人前に出て一人でピアノを弾くという他の授業ではなかなかない経験から緊張も見られたが、初心者の学生も自分なりにしっかり準備してきていた。他の学生もそれぞれ一生懸命練習してきていることに加え、程良い緊張感が、次の授業に繋がったのではないと思う。もちろんピアノレッスンでは、明るく楽しい雰囲気作りを心がけ、学生の良いところやこれまでの取り組みを褒め、基本的な演奏姿勢、練習する時のポイント、もっと良くなる点など、短時間ではあったが丁寧に指導した。個人でピアノ教室に習いに行くのは負担になる学生もいるが、まだ大半の学生が高校在学中のため、わからないことがあれば、高校の音楽の先生等に教えてもらいにいくよう促した。学生のアンケート結果でも、高校の音楽の先生やピアノの先生に見て頂き、課題を進めることができたという項目でYES 74% NO 26%という結果が出ている。2月25日、3月16日も学生はそれぞれ成長した姿を見せてくれた。入学前教育のピアノ課題は図1にあるように、レベル2まで合格を目標にしている、8割の学生は達成(到達できなかった生徒は45名中8名)、もしくはそれ以上のレベルに進むことができた。ピアノを習ったことがないのに、

レベル4まで音楽的にしっかり弾いてきた生徒もいた。歌唱課題は、レベル4の楽曲の出題意図でも書いたように、初回の授業までに曲がりなりにもおかえりのうたが弾けるようになった学生数名に交代で伴奏をしてもらい、テストを実施した。経験者の学生は、人の伴奏をする難しさを感じ、伴奏してもらった学生は同級生の演奏に大いに刺激を受けていた。今後もより充実した入学前教育を追求していきたい。

図1 新入学生の皆さんへ

2017 年度 新入学生の皆さんへ

## 入学前準備授業について

信州豊南短期大学 幼児教育学科

入学前準備授業では、3回のピアノテスト、歌唱テスト、譜読みテスト、レベル別の教科書決めを行います。  
ピアノ課題は4つのレベルに分けましたので、自分が弾くことのできるレベルの課題の全ての曲(例えば、レベル1の場合は2曲両方、レベル2の場合は3曲全曲)を必ず練習して臨んで下さい。  
毎回一人ずつ必ず演奏します。高校の先生や周りの友人に聞くなどして、必ず弾けるようにしてきて下さい。

**ピアノ課題**(各自適切なレベルを選んで、しっかり練習してテストに臨む)

- ・レベル1 ジングル・ベル、ロンドン橋
- ・レベル2 ローレライ、聖者の行進、ぶんぶんぶん
- ・レベル3 アラベスク、ちょうちょう
- ・レベル4 アラベスク、おかえりのうた

※ぶんぶんぶん、ちょうちょう、おかえりのうたは弾き歌いで演奏する。

**歌唱課題**(全レベル共通、しっかり歌の練習をしてテストに臨む)

おかえりのうた(レベル4の楽譜参照)

**譜読み課題**(全レベル共通、しっかり学習してテストに臨む)

譜読み課題の用紙にあることをしっかり理解し、覚えてくこと。

この内容から譜読みのテストをします。

この時期にしっかりピアノに向き合えるかどうか、入学後のピアノの上達に大きく関わってきます。

毎日30分でも時間を取って、コツコツと練習を重ねましょう。わからないことは、高校の音楽の先生に質問に行きましょう。

**第3回目の入学準備授業(3月17日)を終えるまでに**

- ・練習習慣を身に付ける。
- ・音符の長さ、音の高さ、ト音記号、ヘ音記号などの音楽の基本的な事項が理解できるようにする。
- ・入学前準備授業第3回目までに、全員がレベル2以上の課題を終える。
- ・第3回目に1年生のピアノの授業で使用するレベル別の教科書を一緒に決めます。

ピアノの上達目指して、一緒に頑張っていきましょう。

音楽担当 佐藤雄紀



図2 レベル1 ジングル・ベル<sup>1)</sup>、ロンドン橋<sup>1)</sup>

## レベル1

一人ずつテストをするので、高校の音楽の先生などに教えて頂き、必ず2曲とも弾けるようにしてきましょう。

### ジングル・ベル



▶ 後半は片手ずつ練習してから、両手で弾きましょう。

### ロンドン橋



図3 レベル2 表 ローレライ<sup>1)</sup>、ぶんぶんぶん<sup>2)</sup>

JASRAC 出 1709393-701

## レベル2

一人ずつテストをするので、高校の音楽の先生などに教えて頂き、必ず3曲とも弾けるようにしてきましょう(裏面もあり)

ローレライ

Moderato

11

*mp*

*legato*

C F C G

ぶんぶんぶん  
(弾き歌い)

♩ = 104

村野四郎 作詞  
ボヘミア 民謡

*mp*

1~2.ぶん ぶん ぶん ほちがとぶ

[お い け の ま わ り に の ぼ ら が き い た よ  
あ さ つ ゆ き ら き ら の ぼ ら が ゆ れ る よ]

ぶん ぶん ぶん ほちがとぶ

図4 レベル2 裏 聖者の行進<sup>1)</sup>

聖者の行進

8

1拍あたり

C G

G C F

F C G C

図5 レベル3 表 アラベスク<sup>Ⅲ)</sup>

### レベル3

一人ずつテストをするので、高校の音楽の先生などに教えて頂き、  
必ず2曲とも弾けるようにしてきましょう（裏面もあり）

### アラベスク

**Allegro scherzando** ♩ - 126 ~ 132

The musical score is written for piano and right hand. It begins with a tempo marking of 'Allegro scherzando' and a metronome indication of 126 to 132 beats per minute. The key signature has one sharp (F#). The score includes several systems of music with various dynamics and articulations. Key markings include 'p' (piano), 'p leggiero' (piano, lightly), 'cresc.' (crescendo), 'dimin. e poco rall.' (diminuendo and a little slower), 'a tempo' (at the tempo), 'p dolce' (piano, sweetly), and 'risoluto' (determined). There are also first and second endings marked with '1.' and '2.'.

図6 レベル3 裏 ちょうちょう<sup>11)</sup>

ちょうちょう (弾き歌い)

野村秋足<sup>1)</sup> 作詞  
輪垣千頼  
ドイツ民謡

♩ = 84

ちょう ちょう ちょう ちょう な の は に と ま れ

な の は に あ い た ら さ く ら に と ま れ

さ く ら の は な の は な か ら は な へ

と ま れ よ あ そ べ あ そ べ よ と ま れ

図7 レベル4 表 アラベスク<sup>Ⅲ)</sup>

# レベル4

一人ずつテストをするので、高校の音楽の先生などに教えて頂き、  
必ず2曲とも弾けるようにしてきましょう（裏面もあり）

## アラベスク

Allegro scherzando ♩ = 126 ~ 132

*p leggiero* *cresc.*

1. 2.

*dimin. e poco rall.*

*a tempo* *cresc.* *p dolce*

1. 2. *cresc.* *risoluto*

図8 レベル4 共通歌唱課題 裏 おかえりのうた<sup>1)</sup>

JASRAC 出 1709393-701

全レベル共通歌唱課題

おかえりのうた (弾き歌い)

♩ = 125

天野 龍 作詞  
一宮道子 作曲

1. きょう も た の し く  
2. お り が み つ み き も

す み ま し た な か よ し こ よ し で か え り ま し た  
か た づ け て お か え り お し た く で き ま し た

せ ん せ い き よ な ら ま た ま た あ し た  
み な さ ん き よ な ら ま た ま た あ し た

図9 譜読みテスト事前資料 表

**譜読み課題** ※全レベル共通課題です。しっかり学習してテストに臨みましょう。

合格点を取れるまで試験を行います。裏面もあります。

ト音記号、ヘ音記号、音階を自分で書けるようにしておいて下さい。また音符と鍵盤の位置が一致するようにしましょう。

全く同じ高さのド

まんなかのド

音符・休符の名称、長さをしっかり覚えておいて下さい。

音符・名称	4分音符を1拍とした時の数え方	何拍で1小節	休符・名称
○ 全音符	1 2 3 4	4	≡ 全体符
♪ 2分音符	1 2 3 4	2	≡ 2分休符
♪ 4分音符	1 2 3 4	1	♪ 4分休符
♪ 8分音符	1 と 2 と 3 と 4 と	$\frac{1}{2}$	♪ 8分休符
♪ 16分音符	1 と 2 と 3 と 4 と	$\frac{1}{4}$	♪ 16分休符
○・ 付点全音符	○ = ○ + ♪	4 + 2	≡・ 付点全体符
♪・ 付点2分音符	♪ = ♪ + ♪	2 + 1	≡・ 付点2分休符
♪・ 付点4分音符	♪ = ♪ + ♪	1 + $\frac{1}{2}$	♪・ 付点4分休符
♪・ 付点8分音符	♪ = ♪ + ♪	$\frac{1}{2} + \frac{1}{4}$	♪・ 付点8分休符



図 10 譜読みテスト事前資料 裏

臨時記号		
記号	読み方	意味
#	シャープ	その音を半音上げる
b	フラット	その音を半音下げる
♮	ナチュラル	もとの音に戻す



拍子記号  $\frac{4}{4}$

分子は一小節に何拍かを表す

分母は一拍が何分音符かを表す



臨時記号や、強弱記号、拍子の意味を理解し、説明できるようにしておきましょう。

※譜読みテストに向けて、しっかりと学習しておいて下さい。

## 図 11 進捗調査

2017 年度 信州豊南短期大学 幼児教育学科新入生 入学前準備授業配布資料

高校名 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_ (ふりがなも記入して下さい)

※下部にも高校名・氏名を同じように記入してください。

信州豊南短期大学 幼児教育学科  
2017 年度新入生の皆さんへ

### ピアノ進捗状況(経験)調査

- 自宅(一人暮らし予定者は寮やアパート)に鍵盤楽器はありますか。  
【 ピアノ ・ エレクトーン ・ キーボード ・ ない 】
- ピアノのレッスンに通った経験はありますか。(高校の音楽の先生の指導は除く)【 ある ・ ない 】  
ある人は、その期間を教えてください。  
【 いつ ( ) ~ いつ ( ) まで。計 年 】
- 下記のピアノ練習曲集の中で、弾ける教本の番号を書いてください。  
・バイエル【 】番程度                      ・ブルグミュラー【 】番程度  
・ソナチネアルバム【 】番程度              ・ソナタアルバム【 】番程度
- 最近弾いた一番難しい曲を書いて下さい。また、ピアノの授業への抱負を述べて下さい。

※教員記入欄

12月17日(課題曲)	2月25日(課題曲)	3月16日(課題曲)	試験リテラ
レベル1 (再度確認・全曲合格)	レベル1 (再度確認・全曲合格)	レベル1 (再度確認・全曲合格)	点数  (再度確認・合格)
レベル2 (再度確認・全曲合格)	レベル2 (再度確認・全曲合格)	レベル2 (再度確認・全曲合格)	
レベル3 (再度確認・全曲合格)	レベル3 (再度確認・全曲合格)	レベル3 (再度確認・全曲合格)	
レベル4 (再度確認・全曲合格)	レベル4 (再度確認・全曲合格)	レベル4 (再度確認・全曲合格)	
歌唱課題 (再度確認・全曲合格)	歌唱課題 (再度確認・全曲合格)	歌唱課題 (再度確認・全曲合格)	

- ☐ 第1回入学準備不参加のため、12月17日のピアノ課題曲確認なし、歌唱確認なし
- ☐ 第2回入学準備不参加のため、2月25日のピアノ課題曲確認なし、歌唱確認なし
- ☐ 第3回入学準備不参加のため、3月16日のピアノ課題曲確認なし、歌唱確認なし
- ☐ 試験リテラなし

.....キトリ

高校名 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_

※教員記入後、生徒へ渡す

12月17日(課題曲)	2月25日(課題曲)	3月16日(課題曲)	試験リテラ
レベル1 (再度確認・全曲合格)	レベル1 (再度確認・全曲合格)	レベル1 (再度確認・全曲合格)	点数  (再度確認・合格)
レベル2 (再度確認・全曲合格)	レベル2 (再度確認・全曲合格)	レベル2 (再度確認・全曲合格)	
レベル3 (再度確認・全曲合格)	レベル3 (再度確認・全曲合格)	レベル3 (再度確認・全曲合格)	
レベル4 (再度確認・全曲合格)	レベル4 (再度確認・全曲合格)	レベル4 (再度確認・全曲合格)	
歌唱課題 (再度確認・全曲合格)	歌唱課題 (再度確認・全曲合格)	歌唱課題 (再度確認・全曲合格)	

図 12 譜読みテスト 本番

入学前準備授業譜読みテスト 高校 \_\_\_\_\_ 名前 \_\_\_\_\_ (ふりがな)

問1 中央のドから1オクターブ上のドまで書きなさい。  
(一つ上のドまで、中央のドからドレミファソラシドを書く) ト音記号で書くこと。

---

---

---

---

---

問2 中央のドから1オクターブ下のドまで書きなさい。  
(一つ下のドまで、中央のドからドシラソファミレドを書く) ヘ音記号で書くこと。

---

---

---

---

---

問3 ①～③に当てはまる音符、名称、数字、休符を書きなさい(表に直接書き込んで下さい)

音符	音符の名称	4分音符を1とした時の長さ	同じ長さの休符
	①	4	②
③	2分音符	④	⑤
	4分音符	1	
	⑥	⑦	
⑧	16分音符	0.25	⑨

問4 ①、②、③に当てはまる付点音符を書きなさい。

① =  +     ② =  +     ③ =  + 

①	②	③
---	---	---

問5 ♯の意味、♭の意味を書きなさい

♯の意味	♭の意味
------	------

問6 ①～③に当てはまる強弱記号を書きなさい。

ppp ① p ② mf ③ ff fff

弱 ←————→ 強

①	②	③
---	---	---

問7 4分の4拍子とはどういう拍子ですか、説明しなさい。

得点

※各1点 20点満点  
15点未満は再試

図 13 入学前準備授業データ

[illegible]

はじめにでも書いたように、入学前準備授業データ(図 13)を、他の分野の教員と共有した。データの順はランダムにし、氏名、ふりがな、性別、出身高校、県外、学科、試験種別、音楽 I ピアノ担当者の欄はプライバシー保護の観点から割愛した。このデータの共有について、保育実習担当の教員から頂いたコメントを以下に紹介したい。

#### ・保育実習担当の教員から頂いたコメント

入学前からのピアノ指導によって、学生の状況を早く把握することにより、音楽の授業にとどまらず、幼児教育全体の指導に有効に生かすことが出来ると考えている。

まず、音楽担当教員だけでなく全教員が学生のピアノ技術の状況を共有できる点。2つ目に、早期からの指導によって、2年間しかないという短期大学の弱点を埋められる点。3つ目として、学生自身が自分の目標とするピアノ技術と自分の現状の力量を把握した上で、それぞれの目指す資格や免許に向かって学習意欲を持つことが出来る点。などが挙げられる。

実習指導の立場からも、このようなピアノ指導の方法には非常に期待が持てる。保育所実習では、子どもたちとの関わりの中で様々な経験を積むことができるが、実習以前に保育の知識や技術を高めておく事が何より重要である。以前、養成校と県内保育園長との懇談会で、「ピアノの技術が十分ないままに保育所実習に来る学生がいるが、それはいかなものか」という指摘を受けたことがある。入学生のピアノ初心者率の増加とは関係なく、保育の現場では子どもたちと一緒に音楽が楽しめる能力が変わらず求められている。保育者として必要となる最低限の音楽の知識とピアノの技術の習得のために、様々なアプローチをしていく事が望まれる。(五十嵐 紗織)

### Ⅲ アンケート結果から見えてくるもの、考察

入学前準備授業を終え、学生にアンケート調査を行った。

対象：本学の音楽Ⅰの受講者 43 名

- |  |          |                    |
|--|----------|--------------------|
| 1) 入学前準備授業があったので、スムーズにピアノの<br>授業に入っていくことができた                     | YES 93%  | NO 7%              |
| 2) 入学前準備授業(ピアノ)は大切だと思う   | YES 98%  | NO 2%              |
| 3) ピアノの課題がレベル別に分かれていたので良かった                                      | YES 100% | NO 0%              |
| 4) 高校の音楽の先生やピアノの先生に見て頂き、課題を<br>進めることができた                         | YES 74%  | NO 26%             |
| 5) 入学前に練習の習慣ができた   | YES 72%  | NO 28%             |
| 6) 次の準備授業に向けてしっかり準備できた   | YES 77%  | NO 23%             |
| 7) ピアノの上達を実感出来た  | YES 83%  | NO 17%             |
| 8) 譜読みテストを通じて音楽の基本的なことを理解することができた                                | YES 86%  | NO 14%             |
| 9) 譜読みテストを合格まで繰り返し受験することで、基本的なことを入学前<br>に身に付けることができた(再試験該当者のみ回答) | YES 88%  | NO 12%             |
| 10) ピアノの経験を近いものから選んで下さい  | 10年 7%   | 5年 6% 3年 5% 1年 83% |

1)、2)について、文部科学省も高大接続の盛んに重要性を述べている<sup>3)</sup>。入学前準備授業があったので、スムーズにピアノの授業に入っていくことができたの項目が93%、入学前準備授業(ピアノ)は大切だと思うの項目が98%と高い数値が出ているのは、非常に意義深いことである。初心者の割合が増加の一途を辿っている保育者養成校にとって、入学前教育の重要性はもはや語るまでもないだろう。これからもより充実した入学前教育を目指して取り組んでいきたい。

3) について、ピアノの課題がレベル別に分かれていたので良かったの項目では、何と YES 100% という結果であった。初心者割合が高いとはいえ、ピアノの進度は本当に様々なので、生徒には細かなレベル(4段階)の課題を送付し、各自レベルを選択できるようにした。初心者であっても、入学前教育中にレベル2までは合格できるよう義務付けた。ピアノ初心者にも関わらず、レベル3、中にはレベル4をしっかりとクリアした生徒もいて、細かなレベル別の課題の有用性を感じることができた。多くの保育者養成校では、初心者のみを集めた講座や全ての学生に共通した課題などが目立つが、一人一人の生徒に沿った、細かなレベル別の課題は本学独自の取り組みと言える。

4) について、高校の音楽の先生やピアノの先生に見て頂き、課題を進めることができたの項目では YES 74% NO 26% であった。多くの生徒が高校の先生などに聞き、課題を進めている様子がレッスンから伝わってきた。授業でも現状の課題だけでなく、練習方法などもアドバイスをし、次の入学前教育につながるよう指導した。しかし、4人に1人はなかなか見てもらう機会がなかった現状などもふまえて、本学では新たな取り組みを始めた。この詳細は、おわりにで述べる。

5)、6) について、入学前に練習の習慣ができたの項目で YES 72%、次の準備授業に向けてしっかり準備できたの項目で YES 77% と高い数値が出た。今年に関しては特に初心者が9割と非常に多かったが、多くの生徒がピアノを学ぶ姿勢を入学前に身に付けることができた。ピアノを学び始めて最も困難なことの一つは、定期的に練習を重ねて、次のレッスンに備えなければいけないことであろう。よってこの結果は非常に意義深い。

7) について、ピアノの上達を実感出来たという項目では、YES 83% という結果であった。この自己効力感こそ、次の練習への大きな動機となる。8割を超える生徒がこのように感じてくれたことは非常に意義深い。

8)、9) について、本学はピアノレッスンだけでなく、楽典の指導にも力を入れている。入学前教育を行う以前は、音符の名前や長さ、ドレミの位置など

高校生までに最低限身に付けておいて欲しかった最も基礎的な音楽の知識を入学後に指導しなければならなかった。だが、学生に図 9、図 10 の両面印刷の基本的事項を覚えてくるように指導し、譜読みテストをできるまで何度も繰り返し行うことにより、初回の授業ではほとんどの学生が、基本的な事項を理解できていた。初めて入学前教育を行った昨年度は理解度を図る意味で、一度行ったのみであったが、今年度の入学前教育では、20 点満点中 15 点以上を取れるまで何度も解かせた。その結果、譜読みテストを通じて音楽の基本的なことを理解することができたの項目で、YES 86%、譜読みテストを合格まで繰り返し受験することで、基本的なことを入学前に身に付けることができた（再試験該当者のみ回答）の項目で、YES 88% と高い数字が出た。楽典を入学前にしっかり理解させたいのであれば、何度でもできるまで解かせることが非常に重要である。

10) について、ピアノの経験について調査したものである。昨年度も約 7 割はピアノ初心者であったが、今年度は約 9 割と急激に初心者（ピアノ経験 3 年未満）の割合が増加した。今後も保育者養成校におけるピアノ経験の動向を調査していきたい。

## IV おわりに

最初に述べたように、やはり日本の幼児音楽教育の中でピアノは大きな位置を占めている。保育者養成校に入学してくるピアノ初心者は 7 割に及び（今年に関しては 9 割）、この数はおそらくこれからも増えていくだろう。しかし、筆者は悲観していない。保育者養成校の教員の熱意と授業の工夫によって、必ず保育現場で通用する音楽的な能力を身に付けることができると考えているからだ。そのためには、はじめにでも述べたように以下の 3 点の改善が必須であろう。

- 1) ピアノのカリキュラム、教材を再考する必要性
- 2) ピアノの授業形態を再考する必要性



### 3) ピアノの入学前教育を再考する必要

本学では12月、2月、3月と3回の入学前教育(音楽)を行った。各回の時間は限られたものであったが、入学前教育を通じて、保育者への学びを育むことができたり、音楽の授業にスムーズに入っていくことができたりしただけでなく、他の分野の教員とそのデータを共有することで、入学の早期から学生の詳細を把握することができ、学習指導、進路指導に生かすこともできた。これは、保育者養成校の音楽教育において新たな視点である。さらに本学では充実した入学前教育を目指す中で、「保育者を目指したい中学生のためのピアノ学習」「幼児教育系進学を目指す高校生のためのピアノ教室」の二つの無料ピアノ講座(毎月1回開催)が始まった。中学生の保育所での職場体験からの学びの継続、より濃密な高大接続、県全体の幼児教育のレベルアップ、地域連携という意味でも非常に期待のできる取り組みである。これからも日本の幼児音楽教育発展のため尽力していきたい。

#### 〈注〉

<sup>1)</sup> 佐藤 雄紀

「保育者養成校における入学前準備授業とバスティン・ピアノメソッドを用いたピアノのレベル別学習に関する一考察」

『信州豊南短期大学紀要』(34)、pp.119-160、2017年

昨年度、本学でピアノの経験についてアンケート調査をしたところ、10年 16%、5年 14%、3年 16%、初心者 54%という結果になった。昨年度も約7割はピアノ初心者であったが、今年度は約9割と急激に初心者の割合が増加した。他の養成校でもピアノ初心者の増加傾向が見られ、今後もこの傾向は続いていくと思われる。

<sup>2)</sup> 西海 聡子、依田 洋子、今川 典子、高田 いちえ

「保育者養成校における器楽(ピアノ)教育(2)－初心者における弾き歌

いの難しさとその改善の試みー」

『宝仙学園短期大学紀要』(33)、pp.37-50、2008 年

伊藤 仁美、葛西 健治、多賀 洋子、今川 典子、嶋田 陽子

「保育者養成における音楽授業科目に関する一考察(1)ー本学の初年次音楽教育カリキュラムの比較を通してー」

『こども教育宝仙大学紀要』(6)、pp.1-10、2015 年

吉村 淳子、芝崎 美和

「保育者養成におけるピアノ指導についてー学生の自己効力感に着目してー」『新見公立大学紀要』(36)、pp.59-66、2015 年

西海ら(2008)によると、昭和 62 年度入学生では、初級者(経験なしとバイエル程度)は 18%であったが、平成 18 年度入学生では、初級者が 52%、伊藤ら(2015)が引き続き行った、平成 26 年度入学生の初級者は 72.2%と著しく増加したと述べている。吉村(2015)の調査でも 2014 年度入学生ではピアノ未経験者は 30%、初心者(バイエル少し)が 30%となっており、60%の学生はほとんどピアノが弾けない状態で入学している現状であると報告している。

3) 文部科学省

「高等学校と大学との接続における一人一人の能力を伸ばすための連携(高大連携)の在り方について」

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chousa/koutou/020-17/houkoku/06040408/001/004.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/020-17/houkoku/06040408/001/004.htm) (2017 年 7 月 25 日現在)

4) 溝口 綾子

「入学前課題と保育者養成に関する研究～ピアノ教材の提示～」

『帝京短期大学研究紀要』(19)、pp.87-94、2016 年

5) 奥 千恵子

「保育者養成と演奏技法(Ⅱ)ーピアノ初心者対象の入学前教育の取り組みー」『四天王寺大学紀要』(55)、pp.325-341、2012 年

## 引用楽譜

### I) 橋本晃一

『おとなのためのピアノ教本 1』ドレミ楽譜出版社、2013 年

### II) 田中 常夫、平島 美保、木村 鈴代、小杉 裕子

『こどものうた（簡易伴奏曲付）』圭文社、2011 年

### III) ヨハン・ブルグミュラー

『ブルグミュラー 25 の練習曲』全音楽譜出版社、2008 年

## 参考文献

佐藤 雄紀

「保育者養成校におけるアクティブ・ラーニングを用いたピアノレッスン及び幼児に対する音楽表現指導法に関する一考察」『信州豊南短期大学紀要』(35)、2018 年

中山 由里

「ピアノ教育の導入期における授業についての一考察ーピアノ学習初心者への講座を通してー」『九州女子大学紀要』44(3)、pp.67-81、2008 年

梁島 章子、山崎 和子、鹿谷 奈智子、坂井 康子

「初等教員養成のピアノ指導についての研究」

『京都教育大学紀要・A, 人文・社会』(75)、pp.59-84、1989 年

北村 恵子、平澤 節子

「幼児教育者養成における器楽教育について」

『上田女子短期大学紀要』(32)、pp.97-108、2009 年

石原 慎司

「普通科高等学校の授業におけるピアノ初心者指導の試みー授業実施の方法論と教育効果についてー」

『北海道滝上高等学校 研究紀要』(4)、pp.54-71、2009 年

ジェームス・バスティン

『バスティン ピアノベーシックス ピアノ（ピアノのおけいこ）レベル1』

『バスティン ピアノベーシックス ピアノ（ピアノのおけいこ）レベル2』

『バスティン ピアノベーシックス ピアノ（ピアノのおけいこ）レベル3』

東音企画、2009 年

文部科学省 幼稚園教育要領 第2章 ねらい及び内容

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/new-cs/youryou/you/nerai.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/youryou/you/nerai.htm)

(2017 年 7 月 25 日現在)

厚生労働省 保育所保育指針

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kodomo/hoiku04/pdf/hoiku04a.pdf>

(2017 年 7 月 25 日現在)